

骨脆弱性を有する整形外科疾患の治療評価について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

本研究の目的は骨脆弱性を有する整形外科疾患に関する前向き疫学研究や治療成績評価を行うことである。

【対象】

当院を受診して保存療法あるいは手術を施行した患者が対象である。

四肢・脊椎の骨折や変性疾患全般を対象とする。特に大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折などの骨脆弱性を有する整形外科疾患。

【調査項目】

本研究では 1) カルテ、2) 各種画像検査フィルムより以下の項目を抽出し、収集する予定としている。

1) 入退院に関与する項目

病名、手術術式、初診日、入院日、手術日、退院日、退院先

2) 患者背景に関する項目

年齢、性別、身長・体重、併存症、既往歴、飲酒・喫煙歴、内服薬一覧

3) 入院～退院までの経過に関する項目

術前現症、手術時間、術中出血量、術中・術後合併症

4) 採血データ

入院および外来通院時に行った採血データ（血算・生化学・止血機能・感染症・血液型・骨代謝マーカー）

5) 画像データ

初診から最終診察時に施行された X 線写真、CT、MRI、透視画像、シンチグラフィ、DXA より計測されるデータ

6) 自記式評価表調査で得られたデータ。

各疾患の患者立脚型アウトカム評価（自己記入式アンケート：JOACMEQ, JOABPEQ, SRS22, SF36, DASH など）

当院のデータは、市立豊中病院に供与して解析を行います。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

承認日から 2025 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

市立豊中病院および大阪大学整形外科医局関連病院（当院を含む）

【研究代表者】

柏井 将文

市立豊中病院 整形外科

〒560-8565 大阪府豊中市柴原町4丁目14-1

TEL：06-6843-0101

【研究事務局】

市立豊中病院 整形外科

〒560-8565 大阪府豊中市柴原町4丁目14-1

TEL：06-6843-0101

【当院の研究責任者】

堀木 充

関西労災病院 整形外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）